



GIP-TRIAD

International Joint Degree Master's Program
in Agro-Biomedical Science in Food and Health



 筑波大学
University of Tsukuba

université
de **BORDEAUX**

 國立臺灣大學

国際連携食料健康科学専攻

International Joint Degree Master's Program
in Agro-Biomedical Science in Food and Health

「食と健康」に関わるイノベーションを
生み出そうとする強い意志を持つ学生を求めます

世界を巡って「食と健康」を学ぶ
初の欧州&アジア共同での学位
プログラム



国際連携食料健康科学専攻とは

本専攻では、世界的にも稀有な国境、大学、専攻の枠を超えた連携と「食と健康」に関わる学問分野（農学・医科学）の融合によって修士（食料健康科学）を創出します。

連携大学が持つ多様なフィールドにおける実践的教育研究活動を通じて、食と健康に関わる地球規模問題を解決できる人材の育成を目指します。

3大学合同による学位（ジョイント・ディグリー）の授与

所定の単位を修得した後、3大学合同による最終審査に合格した場合、1枚の学位記に3学長が連名した「修士（食料健康科学）」の学位が授与されます。

- 食品加工学
- 食品科学
- 植物分子遺伝学
- 植物寄生菌学
- 植物生理学
- 植物育種学
- フードセキュリティー
- メタボロミクス
- ワイン醸造学
- 農業経済学
- 栄養学
- 園芸学



- 環境医学
- グローバルヘルス
- 微生物学
- 神経生理学
- 幹細胞生物学
- 分子細胞生物学
- シグナル伝達
- ウイルス学
- 医科学
- 毒性学

3 大学の特徴的な

実践的フィールド



ボルドー大学 UNIVERSITY OF BORDEAUX

- INRA-Bordeaux (Green Campus)
- Bordeaux Science Agro
- 農学系企業 など



筑波大学 UNIVERSITY OF TSUKUBA

- 健康医科学イノベーション棟
- 国際共同教育ラボ
- つくば機能植物イノベーション研究センター
- 農学・食品系企業 など



国立台湾大学 NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY

- 溪頭実験演習林
- 南投実験演習林
- バイオテクノロジー系企業 など



カリキュラム

授業科目は、「食と健康」に関する学問的な基礎及びマネジメント等の基礎を養う「基礎科目」、実践的学修を通じて課題発見・解決能力及び高度専門職業人としての資質を養う「専門科目Ⅰ」、健康と食資源に関する専門性を養う「専門科目Ⅱ」に区分して配置します。また、グローバル社会と研究開発を橋渡しすることのできる専門力と実践力を備えた国際的な高度専門職業人を養成するという目的を踏まえ、フィールド活動やインターンシップなど実践的学修を重視します。

入学	第1セメスター 筑波大学	第2セメスター 国立台湾大学	第3セメスター ボルドー大学	第4セメスター 各ホーム大学	修了
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> 健康と食資源に関する専門基礎力 物質の生体への効用・安全性評価に関する専門力 起業家精神・マネジメント力 専門英語力 	<ul style="list-style-type: none"> 健康と食資源に関する専門力 アジアの社会・自然環境における課題発見・解決能力 アジア企業におけるR&D、マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 健康と食資源の結びつき及び食資源の評価開発に関する専門力 欧州の社会・自然環境における課題発見・解決能力 欧州企業事情、キャリア形成 	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマに応じた一層の専門力 修了後の進路希望に応じた実践力 	
授業科目	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目 <ul style="list-style-type: none"> 食料健康科学概論 食料健康科学グループセミナー 就職キャリア支援セミナー アントレプレナーシップトレーニングⅠ・Ⅱ 基礎分子栄養学 専門科目Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> 基礎毒理学 食料健康科学演習Ⅰ 食料健康科学研究Ⅰ 専門科目Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> 橋渡し研究概論 人体病理学・腫瘍学 地球規模課題と国際社会：環境汚染と健康影響 保健医療政策学 グローバルフードセキュリティ特論 食料システム学特論 食料健康科学演習Ⅱ がんの生物学 代謝ロミクス 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目 <ul style="list-style-type: none"> バイオアントレプレナーシップトレーニング 専門科目Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> 食料健康科学演習Ⅱ 食料健康科学研究Ⅱ 生物医学研究の橋渡しのためのブートキャンプ フィールドと実験室の融合（台湾） 台湾企業インターンシップ 専門科目Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ＜健康と食資源科目群Ⅱ＞ 生体分子の細胞ネットワーク グローバルヘルス諸課題 食品安全と健康 台湾農業 食料システム学特論 応用微生物学 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目 <ul style="list-style-type: none"> キャリアパス・セミナー 専門科目Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> 国際科学セミナー オミクスとバイオインフォマティクスの食料 健康科学への応用 フィールドと実験室の融合（フランス） 専門科目Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ＜健康と食資源科目群Ⅲ＞ 水性及び食源性微生物病と食習慣 栄養・生体制御と主要疾患 植物育種学の最先端とその利用 欧州における食品安全・保健政策 	<ul style="list-style-type: none"> 専門科目Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> インターンシップ-筑波大学学生 インターンシップ-国立台湾大学学生 インターンシップ-ボルドー大学学生 専門科目Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマに関連する専門科目（必要に応じて） 	学位授与
学修プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 9月 全体及び第1セメスターガイダンス 9月 研究計画書の提出 9月 指導教員（主1人・副2人）の決定 9月 個別履修指導・相談 9月～1月 授業科目の履修【15単位以上】 1月 研究指導 1月 特定課題研究のテーマ案提出 	<ul style="list-style-type: none"> 2月 第2セメスターガイダンス 2月～6月 授業科目の履修【15単位以上】 6月 研究指導 6月 特定課題研究の計画案提出 	<ul style="list-style-type: none"> 9月 第3セメスターガイダンス 9月～1月 授業科目の履修【15単位以上】 11月 研究指導 11月 特定課題研究中間発表会 	<ul style="list-style-type: none"> 2月 第4セメスターガイダンス 2月～6月 インターンシップ 2月～8月 特定課題研究のまとめ 2月～8月 特定課題研究報告書の提出 2月～8月 審査体制の決定 2月～8月 特定課題研究発表会 2月～8月 特定課題研究報告書の審査、最終試験、修了判定 	
到達度評価					

入試情報（詳細は当専攻のホームページでご確認ください。）

≫ 一般入試（8月入試の状況により、1月入試を行う場合があります。）

募集人員	3名	出願書類 （英語で作成）	1. 入学願書 2. 履歴書 3. 受験票・写真票（所定様式） 4. 小論文（所定様式） 5. 卒業（見込）証明書及び成績証明書 6. 学位取得証明書 7. 推薦書 8. 英語能力を証明する書類等
試験場所	筑波大学 筑波キャンパス		
重要な日程	出願期間 ▶ 7月 選抜試験 ▶ 8月 合格発表 ▶ 9月 入学 ▶ 翌年の9月		

≫ 問い合わせ先 入試・本専攻に関する問い合わせ

国際連携食料健康科学専攻事務局
 住所：茨城県つくば市天王台1丁目1番地1 筑波大学工学エリア4E棟6階 610
 電話：029-853-3228 Eメール：gip_info@un.tsukuba.ac.jp
 窓口受付時間：8時30分から17時15分まで（12時15分～13時15分を除く）

<https://www.gip.tsukuba.ac.jp/>



GIP-TRIAD HP

≫ GIP-TRIAD ロゴマークについて

本専攻の開選準備を3か国（大学）同時に進めていく関係上、共通した指標が必要であり、Global Innovation Joint-Degree Program というスローガンを立てて、その準備を進めた。GIP-TRIADとは、そのスローガンの略と3か国（大学）の連携であることを示している。また、現在のロゴマークはそれに準じて作成したものである。

